



【化石調査】

日 時：令和5年10月14日（土）

場 所：かもめ館・管の浜

スタッフ：東北大学 永広昌之博士

南三陸ネイチャーセンター友の会
自然環境活用センター



「化石ってなあに？」

・化石とは、過去の生物の体または生活の痕（あと）が地層中に保存されたものです。貝殻、骨、葉、微生物、うんちなど様々な生物の化石があります。体の組織そのものが残っていても、生物の体の模様の痕などが残っていれば化石に含まれます。

「化石について、いろいろ教えてもらったよ！」

- ・東北大学の永広先生に、南三陸の化石について教えていただきました。魚竜化石や地層のこと、今も新しい化石の発見があることなどを聞き、隊員たちは真剣に先生の話聞いていました。
- ・その後、かもめ館に展示している南三陸周辺で発掘された化石を見学しました。



「さあ、どんな化石があるかな?!」

- ・永広先生にレクチャーを受け、いよいよ化石発掘の始まりです。はじめは、見つけれなかった隊員たちも次々に化石らしきものを見つけては、先生に聞きに行き、本物だと分かるとみんな喜んでいました。
- ・また、「全国子どもエコクラブ」のYouTubeチャンネルで、隊員が活動のライブ中継を行いました。「エコチル 南三陸」でネット検索するとそのチャンネルを見ることができますので、中継の様子をぜひご覧ください！



「アンモナイトのレプリカを作ったよ！」

・午後は、アンモナイトの型に石膏を流し込みレプリカ作りをしました。永広先生にたくさんの型を持ってきていただき、みんないろんな形のアンモナイトを作っていました。



「環境 DNA のサンプリング調査、お疲れ様でした！」

・みんながサンプリングした結果は、1月に予定している青森県むつ市脇野沢小学校と、兵庫県豊岡市コウノトリKIDSクラブの子ども達と、オンラインで行う環境DNA結果共有イベントで発表します。

【次回の活動予定】※都合により変更の可能性もあります

☆11月19日(日)

志津川湾ラムサール条約登録5周年記念シンポジウム

・シンポジウム当日、隊員みなさんに活動の様子や南三陸の魅力を発表してもらいます。事前に、発表の練習をする予定ですので、日程が決まり次第ご連絡します。

☆12月9・10日(土・日) 壁新聞作りワークショップ

・1年間の活動のまとめとして壁新聞作りを行います。今回も「全国エコ活コンクール：壁新聞部門」に応募するので、また宮城県代表になれるよう、みんなで協力して作りましょう！

☆昨年度の南三陸少年少女自然調査隊の壁新聞は『Let's learn about Minamisanriku! 南三陸について学ぼう!』でした。

